

七宝焼

七宝焼とは：

- ・七宝(金・銀・るり・水晶・しゃこ・さんご・めのう)をちりばめたように美しい焼き物という意味です。
 - ・銅の板や銀の板にガラスの粉で出来ている薬をのせて、800～900度で焼きます。
- できた製品は世界でただ一つのオリジナル。ゆう薬の乗せ具合、微妙な温度差で、友だちと同じものを使っても、あなただけの作品にできあがります。

注意) ※ゆう薬(絵の具)はガラスの粉なので、取り扱いに注意して下さい。
※電気炉は非常に高温になっているので、炉の周辺で騒がないで下さい。
※焼いた直後の銅板も非常に熱いので、軍手で触るようにして下さい。



作り方：

①道具を用意します。

＜こちらで用意できるもの＞

炉、火バサミ、金網、台、キーホルダー、つまようじ、
ゆう薬(表・裏用)、ホセ(竹串)、ボール、水

＜用意してもらうもの＞

ティッシュ、強力接着剤、サンドペーパー(＃120程度)、軍手



＜所で準備できるもの＞ ＜団体で用意するもの＞

②銅板にサンドペーパーをかけます。

キーホルダーについている銅板の表と裏にサンドペーパーをかけます。



※裏にも忘れずかけてね！

③銅板の裏に裏引きを塗り、表にサンドペーパーをかけます。

裏に裏引き用のゆう薬(濃い灰色)をホセで1ミリの厚さにぬります。



④銅板を金網の上に乘せ、焼きます。



※どこに置いたか忘れないようにしてね！

⑤銅板の表にゆう薬を塗って焼きます。

よく洗ったホセで、表にゆう薬を1ミリの厚さに塗ります。
厚く塗りすぎると、焼いたときゆう薬がたれて、枠にはまらなくなります。まずは1色だけ塗りましょう。



※色を変える時、ホセは水で必ず洗いましょう。
色がまざってきれいな色がでなくなります。

⑤表に好きな絵やもようを描いて何度か焼きます。

焼いた表の上から、いろいろな色のゆう薬を使って、好きな絵やもようをかいてみましょう。



※作品例



※細かい絵は、つまようじで作業するとやりやすいよ。

⑥できあがり

受け台の縁にボンドを塗って、銅板を貼り付けます。



協力：神戸市立平野中学校